



まちのわだい



町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！



5/11 スポットビジョンスクリーナー

3歳児健診で弱視の早期発見を

3歳児健診で「スポットビジョンスクリーナー」という機材を使った検査を行いました。この機材は今回の3歳児健診から導入されたもので、近視や遠視、乱視など、弱視の原因となる視力の発達を妨げる屈折異常がないかを調べることができます。機材に映る赤や青の光を5秒ほど見つめることで検査が完了します。

健診に訪れた子どもたちは、保護者の膝の上に座ってお利口さんで検査を受けることができました。



5/9 軟式野球ボール寄贈

真っ白なボールで気持ち新たに

幕別ライオンズクラブ(坂本登会長)から、町内中学校の野球部に軟式野球ボールを12箱(144個)寄贈していただきました。

この日、教育委員会でボールを受け取った幕別中学校野球部の4人。部員を代表して、八十嶋琥太さん(2年)は「去年、たくさんボールをもらい、たくさん練習してうまくなりました。もっともっとうまくなって十勝一を目指します」と力強く話しました。



4/28 ベンチ寄贈

手製のベンチでくつろいで

幕別技能士会から、木製のベンチを3台寄贈していただきました。同会からは20年以上にわたり、本棚やベンチを寄贈いただいています。

今年寄贈されたベンチは、札幌南コミュニティセンター内に設置しました。「みんなで大事に使ってもらいたい」と話すのは会長の八巻省三さん。腰掛けておしゃべりを楽しんだり、運動の休憩をしたり、憩いのスペースとしてご利用ください。



4/20 道の駅・忠類

忠類の特産品 自動販売機設置

帯広信用金庫が地域創生支援スキーム助成事業として実施している「トクカチプロジェクト」によって、道の駅・忠類に自動販売機「アチコチトカチ」が設置されました。

これにより、道の駅の人気商品であるゆり根スイーツなどが24時間いつでも購入できるようになりました。



5/12 都市計画審議会委員 退任

長年の貢献に感謝状

嶽山信行さんが、都市計画審議会委員を退任されました。平成15年から公募委員、平成19年からは学識経験者として委員を務め、平成25年以降は豊富な知識を生かして会長を務めてこられました。

嶽山さんは「振り返ってみればあっという間の20年でした。長くやらせていただいたのは、事務局職員をはじめとする周囲の方々のおかげ。発言のしやすい雰囲気のある審議会でした」と振り返りました。



5/12 糠内保育所

「だまされないでね」啓発グッズ制作

帯広警察署と協働で、特殊詐欺への注意を呼び掛けるクリアスタンドを制作しました。クリアスタンドの表面には写真とメッセージ、裏面には警察相談ダイヤルの番号(#9110)を挟み込み、祖母らに渡し、電話機の近くに置いてもらうことで被害の防止を図ります。

子どもたちはおじいちゃん・おばあちゃんのことを思いながら、「さぎに だまされないでね」とメッセージを書いたり絵を描いたりしました。



5/3・4 GWイベント

道の駅周辺は大にぎわい

道の駅・忠類前でGWイベントが開催されました。ハンドメイド雑貨や飲食販売のほか、地元を中心に活動するバンドの演奏が会場を盛り上げました。

4月28日からナウマン公園などの周辺施設がオープンしたこともあり、駐車場が満車になるほど大盛況でした。



4/28 忠類中学校

特産品のゆり根を“かく”体験

忠類中学校のふるさと学習で、忠類ゆり根耕作組合の大坂組合長とJA忠類の熊谷さんの指示のもと「かきゆり」作りを行いました。傷がつき販売できないゆり根の鱗片をかいて「かきゆり」にすることで、廃棄される数を減らすとともに、料理で手軽に使用できるようになることを学びました。





▶地球を守る。未来を守る。そのために今できることを。

環境ナビ

防災環境課
地域環境係
(☎54-6601)

国連では6月5日を「世界環境デー」と定め、日本でも環境基本法の中で「環境の日」と定めています。また、6月の1カ月間を「環境月間」とし、全国でさまざまな行事が行われています。

幕別町では、春の全町一斉クリーン作戦の実施日から6月30日までを「幕別町春のごみ減量・リサイクル推進期間」とし、町全体で環境保全活動に取り組んでいますので、みなさん協力ください。

【町民のみなさんへ】

以下で紹介する取り組みを実践し、推進期間後も継続して日常生活の中で行えるように、この期間を通じて、自身や家族の習慣となるよう取り組みましょう。

習慣化すると負担感を感じることなく取り組みを続けていけるようになります。一歩を踏み出すことが大切です。

【町内会や事業所の団体のみなさんへ】

団体活動の一環としてごみ拾いを実施している場合は、この推進期間に合わせて実施することで、より一体感を持った取り組みとなりますので、実施時期の検討をお願いします。

拾ったごみは町で回収し、町ホームページに団体名を紹介しますので、実施後に防災環境課地域環境係まで連絡ください。

リデュース

- 買い物袋の持参
- 生ごみの水切り
- 食材の使いきり、料理の食べきりによる食品ロスの抑制

全国で年間522万トンの食品ロスが生じています

生ごみは約80%が「水分」
→水を切って捨てるだけで減量化に

リユース

- シャンプーなどの詰め替え品の購入によるボトルの再利用
- リターナブル容器の製品を選び、使い終わったらリユース回収へ出す
- 古着の再利用
→知人にあげる、小物入れや雑巾などへのリメイク
- リサイクルショップやフリーマーケットの利用

リターナブル容器とは、きれいに洗って再利用する容器のことです

リサイクル

- 資源ごみの正しい分別

【ポイント】

- ①リサイクルマークに沿った分別
- ②汚れているものは水洗いをし、きれいにしてから捨てる
→食べ物や飲み物などの容器は汚れたままではリサイクルされません。汚れを落とすだけでリサイクル率の向上につながります。
- ③ペットボトルはラベルとふたを取る
→ラベルとふたは ごみです。

- 町内会の集団資源回収を活用
町では、町内会で行う集団資源回収に対し、1kgあたり5円の交付金を交付しています。町内会の運営資金となりますので、積極的に活用ください。

◆空き地・空き家の適正な管理について

空き地・空き家の草刈りや蜂の巣の駆除、さらには強風による家屋の破損など管理に関する相談が多く寄せられています。

これから、暖かい季節になり草が伸び、自身で草刈りができない場合は、幕別町高齢者就労センター(☎55-3800)で草刈りを請け負っていますので、問い合わせください。(作業員賃金と処分料がかかります。)

また、蜂の巣の駆除については、空き地の所有者において処理していただきますが、駆除業者の紹介が必要な場合は、防災環境課地域環境係まで問い合わせください。

テーマ 水害対策

「避難」とは「難」を「避ける」こと。 自身の避難方法を決めておきましょう！

防災環境課
防災危機管理係
(☎54-6601)



国土交通省では、毎年6月を「水防月間」と定めています。(道外は5月)
水害から命を守るため、ハザードマップを基に自身の避難方法を前もって決めておくことが大切です。



避難方法には、どのようなものがあるのだろうか？

災害時の避難には、自分の車で安全な場所に待機する車中避難もあります。車中避難では、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒に注意するとともに、食料や飲料水をはじめ、照明器具など車中で安全・快適に過ごせるよう準備しましょう。
幕別町は帯広国際カントリークラブ・十勝ヒルズと防災協定を結んでいて、駐車場での車中避難が可能です。受け入れ開始の情報を確認した上で避難をしてください。

行政が指定した避難場所への立退き避難

自ら携行するもの
・マスク
・消毒液
・体温計
・スリッパ 等

小・中学校
公民館

安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

親戚・知人宅

普段から
どう行動するか
決めておきましょう

安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要ですが、事前に予約・確認しましょう。
※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

ホテル
旅館

屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。
■想定最大浸水深
※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

ここなら安全!

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない(入っていると...)
- ② 浸水深より居室は高い
- ③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分(十分じゃないと...)

※①家屋倒壊等氾濫想定区域や②水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。

▶防災情報メール
二次元コードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、登録ください。
touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp

▶幕別町防災公式LINE
二次元コードを読み込み「友だちに追加」で登録ください。
ID検索はコチラ⇒⇒⇒@makubetsu